

小学部 「生活」学習指導案

指導者 T 1
補助者 T 2
指導担当教員 ○○○○

1. 日時 平成19年11月15日木曜 10:00～11:00
2. 対象 小学部2組 計5名(3年 男子2名、4年 男子1名・女子2名)
3. 場所 たけのこ山
4. 題材名 たけのこランドであそぼう

5. 題材の目標

- ・自分で好きな遊具を選んであそぶ。
- ・いろいろな遊具であそぶ中で好きなあそびを増やす。
- ・友だちと一緒にあそぶおもしろさを味わう。

6. 題材について

①児童観

- ・1学期の「学校探検」や「2組ランドであそぼう」でたけのこ山で楽しくあそぶ経験を重ね児童のほとんどはたけのこ山に行くことが好きで、体を動かしてあそぶことも好きである。
- ・個々に好きなことをしてあそぶことも多いが、友だちのあそぶ姿や指導者とのかかわりの中で少しずつ興味やあそびが広がってきている。
- ・集団であそぶ中で、友だちを真似たり一緒にあそんだりする姿も見られるようになり、友だちとのあそびを楽しんだり、友だちとかかわりをもったりすることができつつある。

②題材観

- ・たけのこ山はそこに行くだけで気持ちのよい場所であり、さらにそこに楽しいあそび場があるということで児童にとって「たけのこ山に行きたい」という意欲を高めることができる。
- ・あそび場にはブランコやシーソー、滑り台等のいろいろな遊具があるので、自分で好きな遊具を選んだり、たくさんの遊具で次々にあそんだりすることができる。
- ・あそび場は、下のあそび場、上のあそび場とそこを結ぶ斜面からできていて、常にあそび場全体が見渡せ、いつでも視野の中にあそんでいる友だちが見える場になっている。
- ・遊具から遊具への移動や、上下をつなぐ滑り台での活動で斜面を何度も登り降りする中で、自然と活動量を増やすことができる。
- ・ブランコでは順番を待ったり交代したり、シーソーでは友だちを誘ったり誘われたりする場面が生まれる等、人とかかわり方や集団であそぶルールも自ら必要を感じて身につけることができる。

③指導観

- ・あそび場である「たけのこランド」は、児童の実態や興味に即して、どんな遊具をどのように配置するかを考え、指導者が製作し設置してきた。そこであそぶ児童の姿を受けて、さらに実態に応じ個々の課題を実現していけるように改善を重ねていきたい。
- ・児童の「やってみたい」気持ちを引き出すために、指導者が率先してあそぶ。
- ・児童の「何だろう」「おもしろそう」といった興味を示すサインや「やりたい」といった意欲を示すサインを見逃さず捉え応える。
- ・同じあそびを長く続けている児童には、好きなあそびを存分にすることも認めつつ、違うあそびにも誘って一緒にあそぶことで、あそびを広げたい。
- ・友だちや指導者とのかかわりがもてるよう、児童のあそびに指導者が加わっていったり、一人のあそびを他の児童に広めて一緒にあそんだりしていきたい。
- ・友だちと一緒にあそぶ中で、あそびのルールについてわかっていく機会をつくるようにしたい。

7. 指導計画 (全13時間)

- 第一次 好きな遊具であそぼう・・・ 4時間
 第二次 いろいろな遊具であそぼう・・・ 4時間 (本時2時間目)
 第三次 友だちと一緒にあそぼう・・・ 5時間

8. 本時の学習

①本時の目標

- ・自分から好きな遊具を選んであそぶ。
- ・友だちや指導者と一緒にいろいろな遊具であそぶ。

②児童の実態と課題・手だて

名前	実態	課題	手だて
○ 山 △ 子	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランコが好きで空いていれば自分から乗りにいく。 ・ロープ渡りでは自ら揺らしたり指導者と一緒に激しく揺られたりすることを楽しむ。 ・誘われると指導者と一緒に一本橋を渡ったり友だちとシーソーに乗ったりする。 ・一人で長い間葉っぱを触っていることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちが乗っているも自分が乗りたい時には交代してほしいことを言葉で伝える。 ・いろいろな遊具で友だちや指導者と一緒にあそぶ。 ・先生から誘われたときに、自分のやりたいあそびを言葉で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランコを交代してほしそうな時には自分から言うように促したり、次に何をしたいかを尋ねたりすることで自分の思いを言葉で伝える機会をつくる。 ・指導者が楽しんであそぶ姿を見せたり、友だちがあそぶ姿に注目するような言葉をかけたりすることで、ブランコやロープ渡り以外の遊具にも気持ちが向けられるようにする。 ・同じあそびを長く続けている時には、他のあそびに誘いかけたり、次に何がしたいか尋ねてみたりする。
□	(以下、全員について)	記述する)	

●			
▽			
◎			

③本時について

授業の前半は、個々の児童が「たけのこランド」に設置されている遊具の中から好きな遊具を自分で選ぶことや好きなだけ存分にあそぶことを大切にしたい。その中で、指導者が率先して楽しんであそぶ姿を見せたり友だちがあそぶ様子に気持ちを向けられるような言葉をかけたりすることで、いろいろなあそびに興味を広げ、自分からいろいろな遊具であそんだり友だちや指導者からの誘いを受けて一緒にあそんだりする機会をつくっていききたい。また、ブランコでの交代や一本橋上での出会いやシーソーがしたくて誰かを誘うといったような友だちとのかかわりが生まれるようにしていきたい。

授業の後半には、段ボール滑り台にみんなが集まり、一緒に活動する時間をつくるようにしたい。そのために指導者が率先して何度も繰り返し滑ったりいろいろな滑り方を見せたりすることで児童の活動への意欲を引き出したい。そして、同じ遊具を共有してあそぶ中で、より友だちの活動の様子に気持ちを向け「〇〇くんの真似してみよう」や「△△さんと一緒に滑りたい」等、集団でかかわりあいながら一緒にあそぶことのおもしろさを感じられるようにしていきたい。

④本時の展開

学習の流れ	学習活動	指導の手だて
集合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2組前のペランダに集合する。 ・ 全員で輪になり手をつなぐ。 ・ 「たけのこランド」の歌に合わせて体を動かしたり歌を歌ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1は大きな声で集合することを伝える。 ・ 手を離してしまいがちな児童の間に入る。 ・ 活動への期待を高めるために率先して大きな声で歌い、歌に合わせて手を振る。
あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当番の合図であいさつをする。 ・ 今日の活動を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者も大きな声であいさつをする。
たけのこランドへ移動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「エイエイオー」のかけ声をかけて出発する。 ・ たけのこ山斜面を登る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者が率先して元気よくかけ声をかける。 ・ T1は先頭を走る児童と共に勢いよく走り、みんなをリードすると共に安全を確認する。 ・ 階段を踏み外したり斜面でずり落ちたりする可能性が考えられる児童の側につく。 ○〇・ ・すぐ後ろにつくと体をあずけるようにもたれてくるので、前方からかかわるか距離をおいて後方にいるようにして自力で登れるようにする。 △△・ ・周りの景色を楽しみながら登ることも認めるが長く立ち止まっている時は、早く登るように言葉をかけたり上方から呼んだりする。 □□・ ・前時までに楽しくあそんでいたことを思い出す

たけのこラ
ンドあそび

- ・好きな遊具を選んであそぶ。
- ・友だちや指導者と一緒にあそぶ。
- ・いろいろな遊具であそぶ。
- ・自分から繰り返しあそぶ。

- ・段ボール滑り台
- ・ブランコ
- ・シーソー
- ・一本橋
- ・ロープ渡り 等

- ・遊具でのあそびを終えて集合する。

たけのこラ
ンド出発

- ・たけのこ山を下りる。

ような言葉かけや「今日は何をしてあそぼうか」等、本時の活動への期待を高める言葉かけをすることで意欲的に登れるようにする。

- ・児童が選んだ遊具やあそび方を捉え、一緒にあそんだり友だちを誘いこんだりする。
- ・児童のやってみようという気持ちを引き出すために指導者も率先してあそぶ。
- ・交代する場面であそぶ行かない場合は、様子を見て指導者が児童に言葉や身振りで相手に伝えるように促したり、交代するように促したりする。
- ・同じあそびを長時間している児童には、他のあそびのおもしろさを知らせるため、他のあそびにも誘って一緒にあそぶ。
- ・あそび方を工夫している姿が見られたら、一緒にあそんだり友だちを誘ったりしてあそびを広げる。
- ・じっとしている児童には、児童があそびたい遊具に誘いかけるために、視線やしぐさを捉える。

〇〇・・周りを見たり葉っぱであそんだりする時間も大切にしながら遊具にも誘う。

△△・・指導者とのやりとりを楽しむことを手がかりにして、指導者がいろいろな遊具に誘う。

□□・・遊具へ向かう意欲を高めるために、指導者が遊具であそんでいる姿を見せたり、友だちが楽しそうにあそんでいる様子に注目できるような言葉かけをする。

◎◎・・何をしようかを尋ねることで自分から「〇〇する」という言葉を引き出す。ブランコでは「かわって」の言葉で友だちに思いを伝えるよう促す。

- ・T1とT2は常に二人で児童全体の活動の様子が把握できる場所に分かれていながら、各々が児童にはたらきかけて一緒にあそぶ。また、T1T2で児童の活動の様子を伝えあったり、児童の動きに応じて連携をとりながら場所を移動したりする。

- ・T1はあそびを終えてT1のところに集合することを大きな声でみんなに伝える。

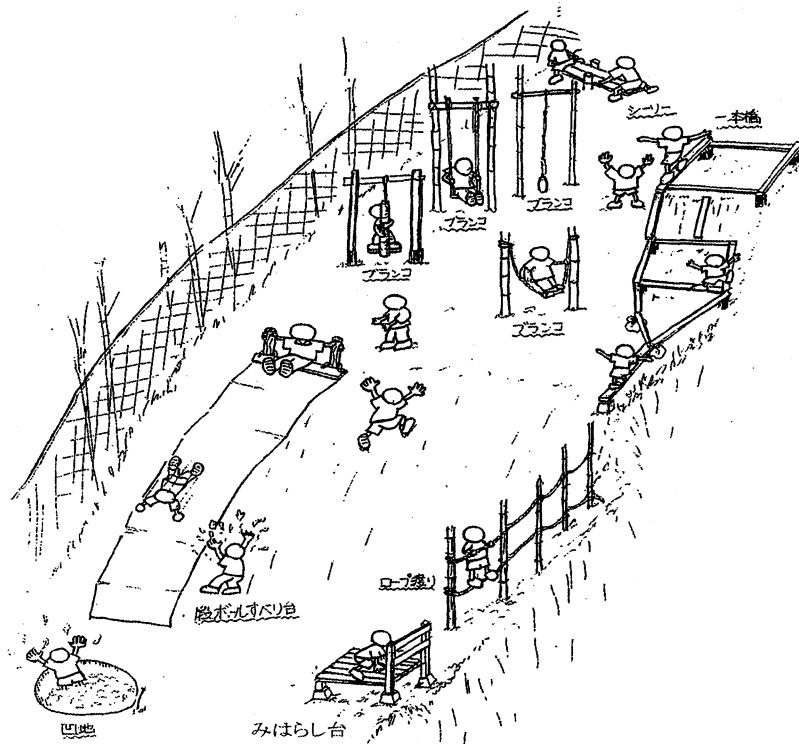
- ・T2はあそびが終われない児童のところへ行き、集合するように誘う。

〇〇・・しているあそびが区切れない場合は「あと10数えたら終わろうね」等の言葉かけをし、納得して自分で終わるようにする。

- ・T1は先頭で下りる。
- ・T2は階段の降り口に立って安全確認をする。

集合	<ul style="list-style-type: none"> 山を下りたところで集合する。 全員で輪になって手をつなぐ。 終わりの歌に合わせて体を動かしたり歌を歌ったりする。 次時の予告を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> T1は早く下りてきた児童と手をつないで輪をつくりながらみんなが揃うのを待つ。 手を離してしまいがちな児童の間に入る。 終わりを知らせるために率先して大きな声で歌い、歌に合わせて手を振る。 指導者も大きな声であいさつをする。
あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 当番の合図であいさつをする。 	
教室へ移動	<ul style="list-style-type: none"> 教室に戻る。 	

⑤学習の場の図



たけのこランド

⑥準備物 なし

⑦本時の評価

- 自分から好きな遊具を選んであそんだか。
- 友だちや指導者と一緒にいろいろな遊具であそんだか。